

## オトナ女子のためのクリスマス・ワークショップ in パレット

去る12月5日(土)・6日(日)の2日間、パレットとっとり市民交流ホールでクリスマスに向けた飾りづくりのワークショップが開催されました。

まず初日は、『ガラスアートで彩るクリスマス』。

市内の公民館でガラスアートの教室をされている坂本英子先生に教わって、キャンドルをデザインしたガラスアートの飾りを作りました。ガラスを切ったり半田を使ったりすることなく、種々のスタンドガラスの雰囲気を楽しめると人気のガラスアートですが、今回参加されたほとんどのの方が初挑戦。慣れない作業にとまどいながらも細部までこだわって丁寧に作業される方が多く、みなさん初めてとは思えない出来栄でした。



2日目の午前は、『フレッシュ・グリーンを使ったクリスマス・スワッグづくり』。

ヨーロッパではリースと並ぶ伝統的なクリスマスの飾りとして知られ、日本でも最近人気急上昇中のスワッグを、栄町で「創作花工房アロッサム・デコ」を営む井口太志さんに教わりました。こちらにも初めてトライされた方が多く、花束のように組み合わせた枝の向きを整える時に、握った手の力を抜きながら作業するのが意外と難しかったようですが、グリーンの香りに癒されながらスワッグづくりを楽しんでいただけました。



2日目の午後のワークショップは、ペーパーデコレーションの技法を使った『初めての飾れるクリスマスカードづくり』でした。

講師は、市内各所で教室をされているペーパーデコレーションフタバの岡村真由美さん。大人の乙女ゴコロをくすぐる繊細な模様や飾りが美しいパーツを使い、立てて飾れるカードと飛び出すカードを作りました。お母さんと一緒に参加してくれた男の子は、出来上がったカードに『ばあばへ だいすき』のメッセージを書きこんでニコリ。素敵なクリスマスプレゼントが完成していました。

いずれのワークショップも参加されたみなさんが楽しみながらも集中して作品作りに没頭されている姿が印象的でした。「日頃、忙しくてなかなかゆっくりとモノづくりをする時間が持てない」というオトナ女子のみなさん。「久しぶりに自分の時間が持てて楽しかった」と喜んでくださっていました。